



シートベルト等の着用状況

令和5年中



1 シートベルトの着用状況 (令和5年中)

区 分		運転席	助手席	後部座席	合計
死 者(a)	着 用	12	3	0	15
	非 着 用	10	0	1	11
	着用率	54.5	100.0	0.0	57.7
重 傷 者(b)	着 用	124	21	8	153
	非 着 用	5	0	20	25
	着用率	96.1	100.0	28.6	86.0
軽 傷 者(c)	着 用	2,626	411	259	3,296
	非 着 用	56	7	118	181
	着用率	97.9	98.3	68.7	94.8
計(d)	着 用	2,762	435	267	3,464
	非 着 用	71	7	139	217
	着用率	97.5	98.4	65.8	94.1
致死率(%) (a/d)	着 用	0.43	0.69	0.00	0.43
	非 着 用	14.08	0.00	0.72	5.07
致死率倍率(非着用対着用)		32.7	0.0	-	11.8

※チャイルドシートを含む

(1) 死傷者別の着用率

令和5年中の交通事故死傷者別のシートベルトの着用率は

死 者 57.7% (令和4年中 62.5%)

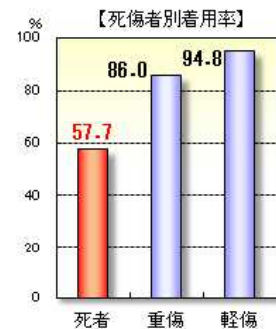
重 傷 者 86.0% (" 91.6%)

軽 傷 者 94.8% (" 95.0%)

死傷者全体の着用率 94.1% (" 94.8%)

と、軽傷者や重傷者に比べて死者の着用率が低くなりました。

なお、重傷以上の非着用者36人のうち22人は、シートベルトを着用していれば死傷の程度を軽減できたと考えられます。



(2) 交通事故死傷者の乗車席別の着用率

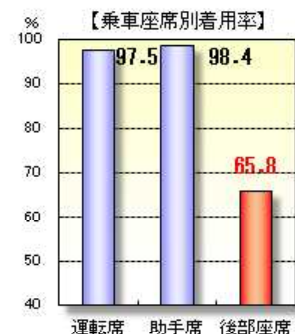
乗車席別シートベルトの着用率は

運 転 席 97.5% (令和4年中 97.9%)

助 手 席 98.4% (" 98.0%)

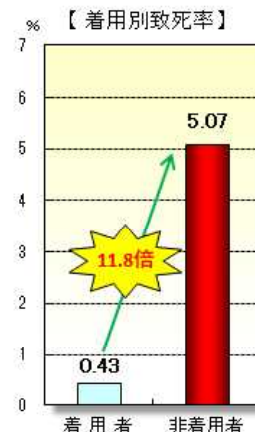
後 部 座 席 65.8% (" 61.7%)

と、後部座席の着用が低調で、運転席と比較して着用率が31.7ポイント低くなりました。



(3) シートベルト着用状況別の着用率

シートベルト着用者と非着用者の致死率について見ると、非着用者は着用者の11.8倍に達していますので、シートベルトの被害軽減効果は高く、シートベルトを正しく着用することが、死亡事故抑止のために極めて重要です。



(4) 年代別のシートベルト着用率

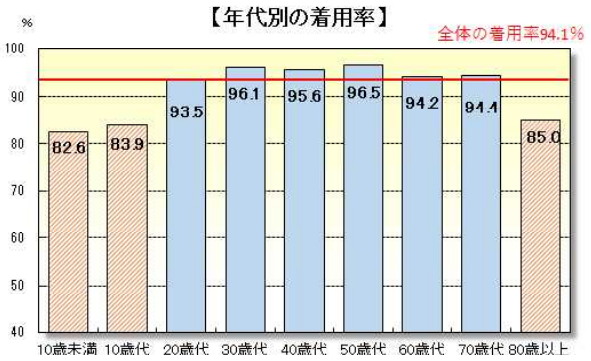
年代別シートベルトの着用率は、全体の着用率が94.1%ですが、

10歳未満が82.6%（109人中90人）

10歳代が83.9%（180人中151人）

80歳以上が85.0%（80人中68人）

と他の年代と比較して着用率が低くなりました。



2 交通事故死傷者のチャイルドシートの着用状況（令和5年中）

四輪車乗車中死傷者のチャイルドシート

の着用率は、

助手席 85.7%（令和4年中 84.6%）

後部席 85.7%（令和4年中 86.5%）

死傷者全体の着用率 85.7%（令和4年中 86.2%）

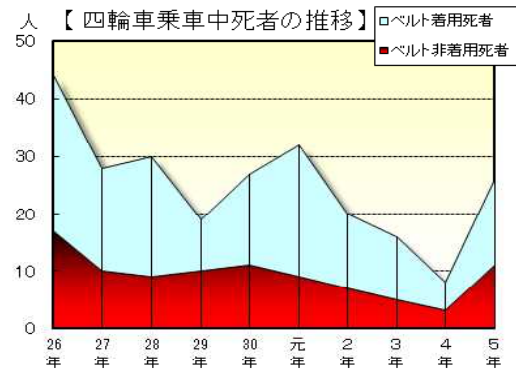
となりました。

区分	助手席		後部座席		合計
	着用	非着用	着用	非着用	
死者	着用	0	0	0	0
	非着用	0	0	0	0
	着用率	-	-	-	-
重傷者	着用	0	1	1	1
	非着用	0	0	0	0
	着用率	-	100.0	100.0	100.0
軽傷者	着用	12	47	59	59
	非着用	2	8	10	10
	着用率	85.7	85.5	85.5	85.5
計	着用	12	48	60	60
	非着用	2	8	10	10
	着用率	85.7	85.7	85.7	85.7

3 シートベルトの着用率の推移（基礎データ平成26年～令和5年）

シートベルト非着用死者は、平成26年以降、増減を繰り返しつつも減少傾向となり、令和4年には3人まで減少しましたが、令和5年は11人と大幅に増加しました。

令和5年は、四輪車乗車中死者が前年比で+18人と大幅に増加し、四輪車乗車中死者のシートベルト着用率は57.7%と、過去10年では2番目に低い水準となっています。



【四輪車乗車中死者の推移】

区分	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
ベルト着用死者	27	18	21	9	16	23	13	11	5	15
ベルト非着用死者	17	10	9	10	11	9	7	5	3	11
うち効果あり	13	9	8	10	6	8	6	4	2	6
四輪車乗車中死者	44	28	30	19	27	32	20	16	8	26
ベルト着用率(%)	61.4	64.3	70.0	47.4	59.3	71.9	65.0	68.8	62.5	57.7

4 シートベルト着用調査（令和4年10月～12月 警察庁・JAF合同調査）

区分	高速道			一般道		
	運転席	助手席	後部座席	運転席	助手席	後部座席
宮城県	99.9%	100.0%	85.5%	99.6%	98.4%	31.7%
全国	99.6%	98.7%	78.0%	99.1%	96.9%	42.9%
全国順位	第7位	第1位	第12位	第11位	第9位	第42位

令和4年調査の本県のシートベルト着用率は、高速道では全国的に見ておおむね上位にありますが、一般道では後部座席同乗者の着用率が全国平均を下回りました。